



暖かさいつまでも断熱・気密

大進ホームの家は、ZEH Oriented仕様です。

ZEH Oriented (ゼッチ・オリエンテッド)とは、都市部狭小地や多雪地域において、ZEH (ゼッチ、net Zero Energy Houseの略)を指向した先進的な住宅です。大進ホームの建物は、標準仕様で認定基準をクリアしており、月々の光熱費が抑えられることはもちろん、税金や住宅ローンにおいても様々なメリットが得られます。

(※1) 建物プランや建築地等の諸条件により基準を満たさない場合もございます。(※2) 太陽光発電等の創エネ設備を設置の場合はオプションになります。

断熱

内外ダブル断熱を標準採用

柱間に入れた105mmのグラスウールに、さらに壁の外側からも45mmの押出法ポリスチレンフォームを加えた、合計150mmの内外ダブル断熱工法を標準採用。冬でも暖かく快適で、気になる光熱費も抑えた省エネルギー住宅です。

換気設備

ダクト式第三種換気システムを採用

気密性の高い住宅内の空気を綺麗に保つため、第三種換気システムによる24時間換気を行います。



高性能トリプルガラス

世界トップクラスの断熱性能と先進の機能・デザイン

高性能の樹脂窓で高断熱化することで、エネルギー消費の削減はもちろん、住宅の温熱環境を改善し快適な住環境を実現させます。



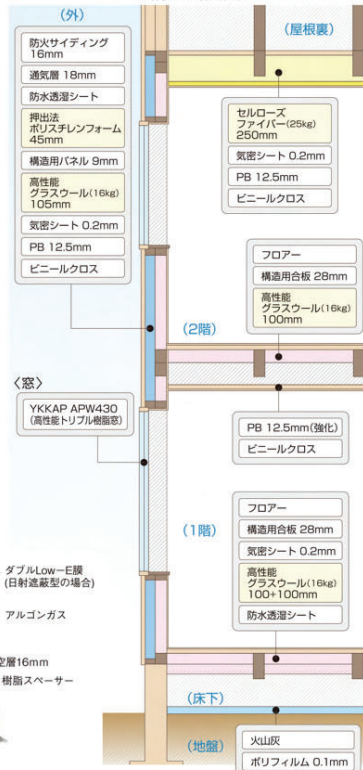
気密

四季を通じて、快適な生活は気密がポイント!

全棟気密測定を実施

断熱性能を高めても気密性が悪ければ、隙間から冷気や熱気が室内に侵入し、適切な温度管理ができません。余計な冷暖房費もかかります。ラクいえでは、全棟気密測定を実施。断熱性能の効果を最大限発揮できる、気密性の高い住まいをご提供することで、快適な温熱環境を実現しています。

<構造断面図>



標準仕様

大進ホームこだわりポイント① | 防音対策

ダブル断熱により静かで穏やかな室内環境をご提供。

さらに、2Fの床下やトイレ周りの壁にも断熱材を施工することで、気になる生活音に配慮。プライバシーにもこだわった工夫をしています。

標準仕様

大進ホームこだわりポイント② | 全棟、エネルギー消費性能&外皮性能を計算

2022年6月に建築物省エネ法が改正され、2025年4月(予定)より原則すべての建築物について省エネ基準への適合が義務付けられます。

ラクいえではすべての建物について、国の定めた省エネルギー性能(外皮性能基準、一次エネルギー消費量基準)を第三者機関により計算し、お施主様へご案内しております。

■年間一次エネルギー消費量

※省エネルギー基準に準拠した「エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)」による計算結果です。

	誘導基準値	省エネ基準値	設計値	単位	設計値の家庭エネルギー換算
暖房	58,060	72,575	50,197	MJ/年	13,944
冷房	658	823	536		55
換気	3,105	3,881	2,066		212
給湯	23,115	28,894	28,010		7,781
照明	9,511	11,889	4,871		499
家電・その他	20,416	20,416	20,416		2,092
小計	114,866	138,478	106,096		24,582
太陽光発電	-	-	0	0	
自家消費分	-	-	0	0	
合計	114,866	138,478	106,096	24,582	
	114.9	138.5	106.1	GJ/年	kWh/年

年間一次エネルギー消費量(設計値)

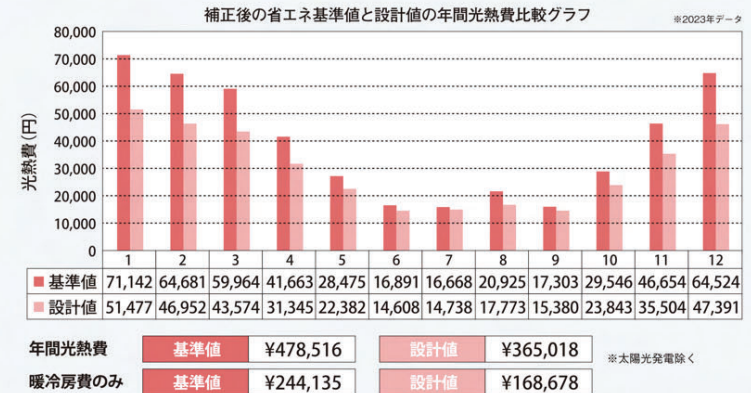
■建物の省エネルギー性能

断熱性能(UA値)	省エネ基準値		設計値	
	0.46	W/m2k	0.27	W/m2k
			170.4	%

※UA値[外皮平均熱貫流率]:建物の断熱区画(床・壁・天井・開口部等)の表面積1㎡当たりから平均に逃げる熱のこと。

さらに

燃費換算による予想年間光熱費、冷暖房費を算出・提示!



※一次エネルギー消費量は、一定の前提条件のもとで算出しており、算定結果は実際の消費量とは必ずしも一致しません。※光熱費につきましてはエネルギー価格の変動や、暮らし方によっても変動がありますので目安としてご覧ください。



家族の幸せを守る 構造体

1971年(昭和46年)創業、全道7000棟の信頼と実績。
これまで培った経験と技術で、未永く安心して暮らせる家づくりをご提供いたします。

標準仕様 構造体

強固な構造と
自由度の高い設計を
実現するため
軸組合体工法
を標準採用

大進ホーム 標準仕様

軸組合体工法

在来工法(柱・梁)をベースに2×4工法(面材)を取り入れたハイブリッド型。
それぞれの工法の長所を取り入れ、
高い耐震性・断熱性と間取りの自由度を両立した工法。
将来の増改築への対応も容易です。

在来工法		2×4工法	
特徴		特徴	
耐震性	△	耐震性	○
断熱性	△	断熱性	○
間取りの自由度	○	間取りの自由度	△
増改築への対応	○	増改築への対応	△

特徴	
耐震性	○
断熱性	○
間取りの自由度	○
増改築への対応	○



頑強構造その1

壁倍率2.5倍

3尺ピッチの柱に打ちつけた
構造用パネル。

<一般の軸組工法>

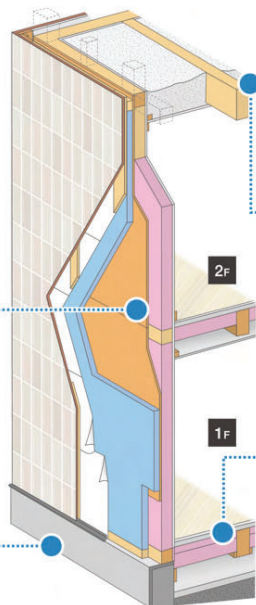
柱の間隔は6尺(1,820mm)ピッチで施工するため、水平荷重を支える筋カイが入っており、壁倍率1.5~2.0程度。

高耐久の理由

材料と工法の両面から
耐久性を追求

180mm厚の頑丈な基礎 (外周部)

布基礎はコンクリート厚さ180mmの強固なつくりとし、住宅の荷重をしっかりと支えます。



頑強構造の理由

キーワードは
3尺(910mm)ピッチ

頑強構造その2

積雪荷重2倍の強さ

3尺ピッチで通常の2倍の
使用量の柱(集成材)・梁

<一般の軸組工法>

柱・梁は6尺(1,820mm)ピッチで施工するため、構造のゆがみやたわみが起きやすい。

頑強構造その3

床の厚さ2倍

3尺ピッチの梁に打ちつけた
28mm厚の構造用合板。

<一般の軸組工法>

6尺(1,820mm)間隔に梁の上に根太材を敷き、床下地合板(厚さ12.5mm程度)を打ち付けるが、床剛性が弱く、ゆがみが起きやすい。

強いだけじゃない！
安心・安全の<ラクいえの家づくり>

標準仕様 健康

家族の健康にも配慮

◎シックハウス対策 「F☆☆☆☆」性能とハイクリンボード

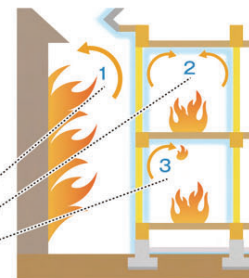
ラクいえではF☆☆☆☆(フォースター)に対応した建材をはじめ、有害物質を吸収分解するせっこうボードを標準採用。
家族の健康にも配慮した設計となっています。
[シックハウス症候群]の原因となっているホルムアルデヒドを吸収し、さらに分解します。



標準仕様 省令準 耐火構造

火災リスクを食い止める

ラクいえの建物は、省令準耐火構造を標準採用。
火災リスクを軽減し、火災保険料も約半分に抑えられます。



1. 外部からの延焼防止
2. 各室防火
3. 他室への延焼遅延

現場レポート 築40年の大進ホーム施工住宅の解体現場

創業50年以上のため、築年数の古いお施主様より建て替えのご相談を頂きます。
旧宅の解体では、お施主様にもお立会い頂き、構造・断熱・基礎の状態を確認頂くことも少なくありません。お施主様にはその良好な状態をご覧いただき、当社の優れた品質と高い技術力をご確認いただいております。



<構造体>

小屋裏。特に結露や雨漏りの跡もなく、木材も綺麗な状態。



<断熱材>

壁内断熱材はしっかりと充填された状態を維持。



<床下>

乾燥状態が維持され、基礎・配管ともに問題なし。